

五十一 このごろは年がものをいう

このごろは年がものをいうようになってきました。年をとっているのに一人であちこち出かけて、元気で講演するものですからみな驚かれ、中には百歳まで大丈夫なぞという人がよくあります。私は普通の世間話には少しも気がありませんが、いざ速記の話となると、いつべんに元気が出るので。もちろん年なんか頭の中ではありません。いつべんに元気があふれ出るのです。一日一回講演しても今日は疲れたなあというときがよくあります。これでは一日二回、三回講演するのはとても出来そうにないように思われるのですが、実際はそうではありません。二回講演しても、ときどきは三回講演しても、無事すませてしまうのです。これは気の持ち方によるのだろうと思います。自分でもどうしてこんなだかわからないのですが、速記の重要性を訴える気持で胸いっぱいですから、こんなこともできるのだらうと思っています。一日三回講演なんて

